



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 53 号

2008.6.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- 一八幡湿原自然再生工事が進行
- 一『苅尾』の原稿を募集
- 一観察会集合場所の変更
- 一西中国山地自然史研究会の携帯電話

活動報告

- 一牛が首山の植物観察会
- 一臥竜山の野鳥観察会

観察会案内

- 一阿佐山の植物観察会
- 一熊城山の植物観察会
- 一龍頭山の野鳥観察会
- 一霧ヶ谷実験地の植生調査

お し ら せ

● 八幡湿原自然再生工事が進行しています

環境省が補助し、広島県が行う「八幡湿原自然再生事業」の工事が二川キャンプ場の近く、霧ヶ谷で進んでいます。すいぶん緑が増えてきました。

● 『苅尾 第 16 号』の原稿を募集

西中国山地自然史研究会の『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600字程度にまとめてください。写真を大歓迎します。あなたの見つけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

● 観察会集合場所の変更について

阿佐山の観察会、熊城山の観察会の集合場所が変更になりました。

阿佐山→清流の家
熊城山→芸北文化ランド

● 西中国山地自然史研究会の携帯電話について

事務局の携帯電話を購入しました。自然館開館時および観察会の前日（夜は21:00まで）～観察会終了時に利用いただけます。観察会当日の急な連絡などにお使い下さい。

電話番号：080-6334-8601

観 察 会 報 告

● 牛が首山の植物観察会

開催日時：2008年5月17日（土）9:30

講師：佐久間智子

青空が見える，気持ちの良いお天気になりました．集合場所から登山口まで車で移動して，全体の説明を受けました．登り始めると，クリの木が並んでいて，クマ棚がたくさん見られました．植林の中を登っていくと，カンサイスノキ，ヒサカキ，バイカツツジ，ヤマツツジ，コバノミツバツツジ，ダイセンミツバツツジと，ツツジの仲間が次々に現れました．そして山頂付近では，ベニドウダンが見頃を迎えていました．ちょうどお昼頃に山頂に到着しました．お弁当を食べてから，実の付いたブナをしっかりと観察し，下山しました．下りの道でもギンリョウソウ，シュンラン，キンランなどを見ることができました．一部に急な斜面もありましたが，距離も適当で，気軽に登ることができる山でした．全体的には里山の植物が見られる他に，山頂にはブナもあり，短い間に変化に富んだ観察ができました．[しらかわかつのぶ]



登り始めてすぐのクリの木に，たくさんのクマ棚が見られた。



ダイセンミツバツツジの花，少しだけ，まだ残っていた。



講師お手製の「ツツジリーフレット」が配布された。



ベニドウダンがよく咲いていた。



山頂では、ブナがたくさんの実を付けていた。

【みなさんの印象に残った物】

「キンラン」「新緑の山の美しさと山をわたる風」「ベニドウダン (2)」「ベニドウダンの美しさ」「ベニドウダンの美しさ・金蘭も良かった」「キンラン,ギンリョウソウ」「ベニドウダン・ブナの実・キンランが見れた事」「ベニドウダンの赤さ」「ベニドウダン・ウスギヨウラク」「イワカガミとベニドウダンツツジの花がたくさん見れた事」「桧林と杉林の林床の違いがよくわかった」「ブナ林」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「登りにくい（知られていない）山に登れて良かった。山頂のブナ林は素晴らしい。」「たくさんの植物が生命を開き、生きていることに感動しました。また、来年も同じ所に同じ生命が花開くことを願ってやみません。」「今まであまり見たことがなかったベニドウダン、キンランなどを見ることができ満足しています。」「知らない植物が沢山あることにびっくりです。初参加でした。とても楽しかったです。」「暑くて大変だけど、自然はきれい。」「のぼりやすい山でよかったです。」「ブナの実を初めて見ました。ツツジをじっくり見る事がなかったので良かったです。」「天気も大変良くいい登山でした。大変楽しかったです。」「ちょっとした坂がしんどかったですが、天気がよく、気持ちよかったです。ツツジの仲間がたくさん見られて楽しかったです。」「ツリガネ型のツツジがよくわかりました。」「天気がよくて気持ちよい一日になりました。」「新緑を肌で感じる事ができてとてもよかったです。」「標高差に似合った植物が見れて良かった。」



バイカツツジはまだ蕾。



駐車場所に帰って観察した種を再確認。

観 察 会 報 告

● 臥竜山の野鳥観察会

開催日時：2008年5月24日(土) 5:00

講師：上野吉雄

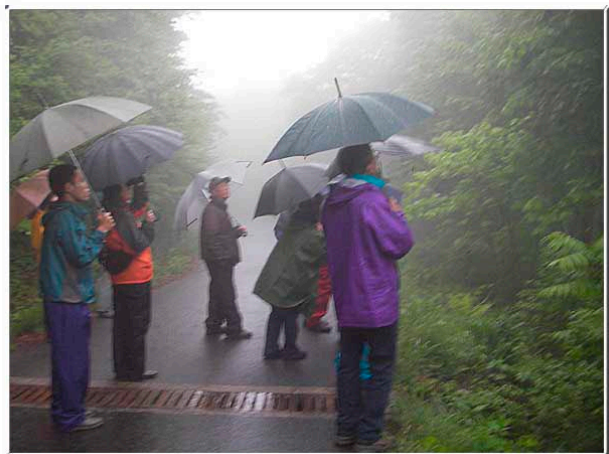
前日からの予報が見事に当たり、雨の野鳥観察会となりました。臥竜山へ上がる車道では霧がでていたので、鳥の姿を見ることはむずかしいかなあと心配しましたが、雪霊水前で車から降りると、鳥のさえずりが聞こえてきたので少し安心しました。受付後、参加者19名と上野先生のお話を聞きました。足元が比較的良好な車道沿いを観察しながら歩くことになり、雨を気にしながらスタートしました。まずにぎやかに聞こえてくるのはマミジロのさえずりです。マミジロは朝早くから鳴き、6時くらいには鳴止むのだと上野先生がお話されました。猛禽類にねらわれずに求愛するためのマミジロの知恵のようです。他にはトラツグミ、オオルリ、コルリ、ミソサザイ、ヒガラの鳴き声も聞こえてきました。アオゲラの「ヒュイヒュイ」という声や「キョロイキョロイキーコキーコ」と鳴くクロツグミの鳴き声もはっきりと聞こえました。憧れの鳥、アカショウビンも「キョロロロロ・」と鳴いていました。姿を探しましたが、見えず残念でした。しかしおもしろいものも発見しました。ダイセンニシキマイマイという水辺に生息するカタツムリなのですが、アカショウビンのエサとなるそうです。一同その大きさにびっくりしたり、硬そうな殻をも砕くアカショウビンのくちばしの強さに感心したりしました。また、なかなか見る機会のないブナの実や、実がクマの好物であるウワミズザクラの花を観察したり、ホオノキとトチノキの違いなど興味深いお話も聞くことができました。終了間際には雨脚が強くなったので、簡単にまとめをして解散となりました。今回の観察会では鳴き声を聞くことができたのは15種、姿を見ることができたのが4種でした。[このやよい]



雨が降ったり止んだりで歩きながらの観察も一苦労。そんな中、上野先生は熱心にレクチャー。



ブナの実には豊作と凶作の年があるらしい。今年は豊作？



「何の木かな??」植物と鳥の関係の話も興味深かった。



いつのまにやらカッパにくっついていたウリハダカエデの花。かわいいのでばしゃり。



「鳥は年寄りの方がもてるんだ」と上野先生。もうひとつ、他の鳥の鳴き声のモノマネの上手な鳥ももてるらしい。

【みなさんの印象に残った物】

「アカショウビンの声 (5)」「雨でも鳥はよくさえずる。」「ダイセンニシキマイマイ・アカショウビンの鳴き声」「マミジロ」「マミジロのメスの死がい (1)」「ソウシチョウがいるのも知った」「マミジロ・ブナの実」「コガラが見れた事」「早朝のマミジロの声 (2)」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「鳥の姿は見れなくても、さえずりが聞け、又自然を満喫できて最高でした。」「初めて聴きました。嬉しかったです。」「上野先生のお話」「とても自然にかこまれていいバードウォッチングの場所だと思います。」「あいにくの雨でしたが、朝早くの山は、気高く、静かな中にたくさんの小鳥の声で感動しました。」「鳴き声の正体のわからないものがわかってよかった。」「トラツグミ等のツグミ類」「雨は残念だったけどいろいろ教えていただいた。」「仕方ないけど、雨が残念」「マミジロの鳴き声がたくさん聞けて良かったです。」「早い時間にさえずっているのでおどろきました。場所によって鳴き声が変わるのが楽しい。」「味わい深い観察会でした」「初めての参加でしたが、色々聞けて良かった」「雨が降ったのは残念」「初めての参加ですが、木も含めて教えて貰えて良かった。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 阿佐山の植物観察会

開催日時：2008年6月8日(日) 9:30
集合場所：清流の家
講師：齋藤隆登、佐久間智子
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

芸北の盟主と言われる阿佐山での観察会です。前回は様々な種類のカエデの葉を観察しました。林内ではギンリョウソウやマムシグサなど生態のおもしろい植物も見られます。ゆっくりと登りながら観察しましょう。

● 熊城山の植物観察会

開催日時：2008年6月14日(土) 9:30
集合場所：芸北文化ランド(変更しました)
講師：齋藤隆登、佐久間智子
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

芸北と大朝の境界にほど近い熊城山に登りながら観察をします。大朝のテングシデ公園からも登れますが、今回は芸北からアプローチします。夏の植物を観察しましょう。

● 龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2008年6月15日(日) 6:00
集合場所：道の駅 豊平どんぐり村
講師：上野吉雄
準備：基本セット、双眼鏡、フィールドスコープ
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

山頂付近にブナ林が残る龍頭山で野鳥を観察します。今回は下の池付近で観察し、上へ移動します。カラ類やトラツグミ、ホオジロなどをゆっくりと歩きながら観察しましょう。他の生き物も見ることができればいいですね。歩きやすいルートなのでお子さんにもおすすめの観察会です。

● 霧ヶ谷実験地の植生調査

開催日時：2008年6月29日(日) 9:30
集合場所：高原の自然館
準備：作業セット
定員数：30名
参加費：無料

水路を設置して4回目となる夏の植生調査です。見た目にはずいぶん湿原植物が増えてきたように見えますが、さて実際はどうなのでしょう？湿原のこと、植物のことを詳しく観察できるチャンスです。初心者の方でもお気軽に御参加下さい。

庭のカキツバタが少しずつ咲き始めました。例年、カキツバタの開花についてお問い合わせがあったときには「5月20日から6月10日頃までが見頃です」と答えていたのですが、今年は1週間くらい遅く見頃がやってきました。その分、遅くまで楽しめそうです。いよいよ夏の到来です。今月は観察会が4つもあるので、盛りだくさんな月になりそうです。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info